

～産学官の協働による人材育成に向けて～

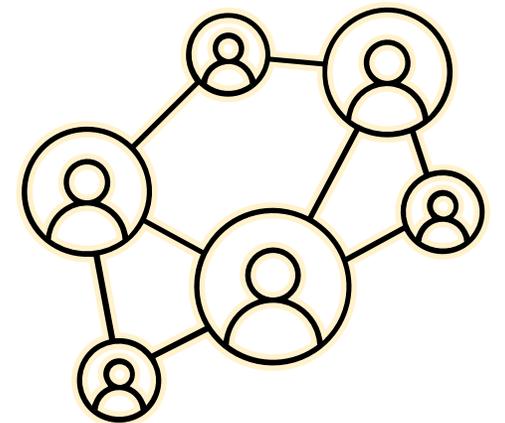
# NEXT長崎人材育成事業

マイスター・ハイスクール  
次世代地域産業人材育成維新事業



みなが咲き、  
ながさき。

長崎県教育委員会



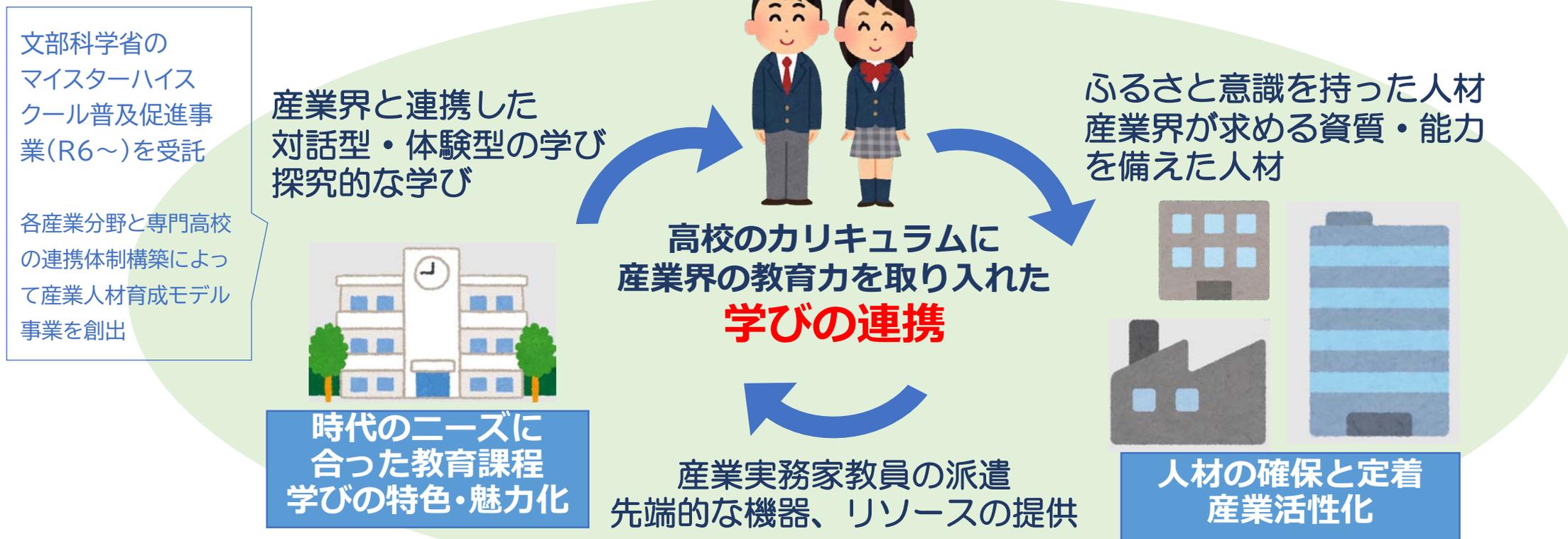
# NEXT長崎人材育成事業

～産学官連携による地域産業人材の育成～

産業界と教育現場、県の関係部局が協働しながら連携する仕組みをつくり、産業教育の「学びの連携」の充実を図ることで、地域産業の持続的発展につながる人材を育成

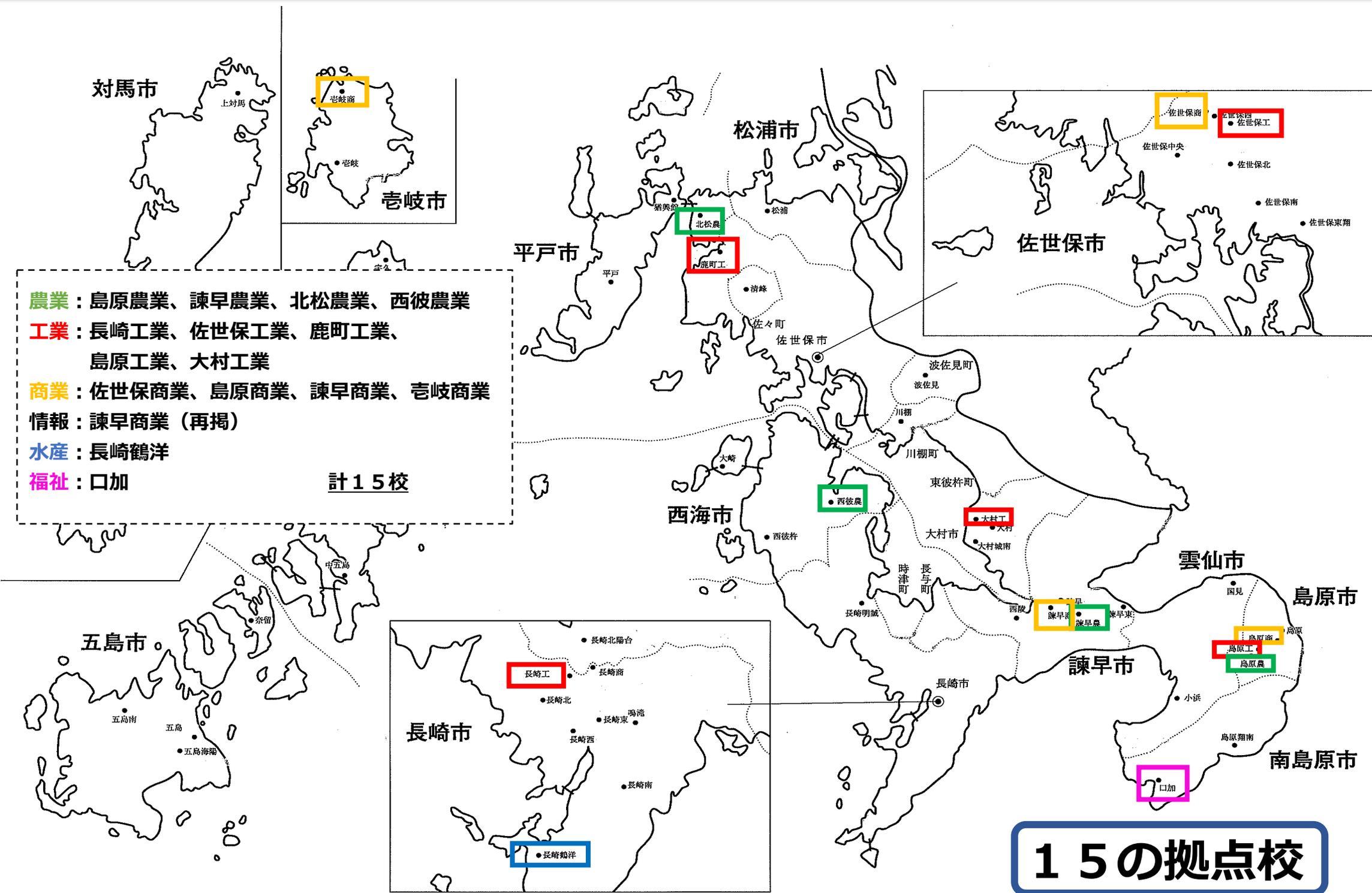
## 【具体的な方策】

- ◆意見交換会、学校見学、企業見学、生徒との座談会、関係者会議の実施
- ◆産業実務家教員による体系的・実践的な授業を導入
- ◆産業界等と専門高校の連携協定を締結し連携体制の構築、 ◆産業界が求める資質・能力を明確にし、関係者で共有
- ◆高校のカリキュラムと地域産業の課題をつなげた学びの連携、 ◆地域産業で活躍したいというふるさと意識の醸成



# NEXT長崎人材育成事業

～産学官連携による地域産業人材の育成～



### 【県単位の産業団体・学校・県関係部局との組織接続】

本県の専門高校・主な産業を網羅(農業・工業・商業・情報・水産・福祉・建設)  
県教委主導で組織間の分断を接続し学校単体では難しいダイナミックな連携へ

### ○長崎県版の持続的な産学官の連携体制（エコシステム）の目指す姿

「産業界の技術・ニーズ × 高校の学び・人材育成 × 県関係部局の施策・予算」の連動

#### <産学官の役割分担>

##### ■ 県教育委員会

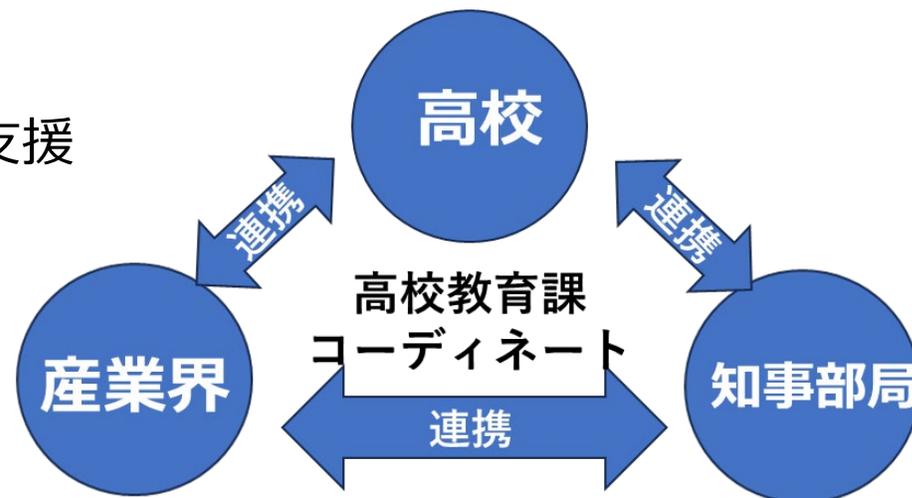
- ①産学官連携で各校共通して必要となる経費の支援  
(外部講師に係る謝金・旅費、企業(現場)見学に係る旅費、教員研修など)
- ②産学官連携に向けたコーディネート(高校のマッチング支援)

##### ■ 知事部局

- ①各分野に特化した産学官の連携に必要な経費の支援
- ②産業団体・企業とのマッチング支援

##### ■ 産業団体

- ①産学官連携へのマッチング支援
- ②連携に必要な企業側への支援



# 実施体制等の構成

## 事業運営委員会

### 【構成員】

商工・業界団体、民間企業、金融機関、大学  
県教育委員会、各高校、知事部局の関係部局

### 【協議内容】

- ・各分野における産業界と専門高校の連携体制の在り方
- ・専門高校における人材育成の在り方
- ・分野を横断した連携の在り方 など

各分野の連携  
体制構築

各分野の横断的  
取組・連携推進

各産業分野で専門高校と産業界が連携するための協議会（コンソーシアム）を設置

【事業運営委員会で決定した方針等を基に分野別の連携体制を構築】

農業

工業

商業

情報

水産

福祉

企業の担当者と高校の教員による定期的な意見交換や学校見学を行うなど、「学びの連携」に向けて協議

### 【内容】

スマート農業など  
先端技術の学びの  
連携 等

連携先：JAグループ  
長崎

### 【内容】

工業分野の先進的・  
実践的な学びの  
充実 等

連携先：建設・工業  
・情報関連団体等

### 【内容】

観光DXやマネジメ  
ントの学びの連携  
等

連携先：長崎県商  
工会議所連合会

### 【内容】

実践的な情報技術  
の学びの連携 等

連携先：（一社）  
長崎県情報産業協会

### 【内容】

スマート水産業や  
加工品製造などの  
学びの連携 等

連携先：長崎県漁業  
協同組合連合会

### 【内容】

介護テクノロジー  
など先端技術の学び  
連携 等

連携先：長崎県社会  
福祉協議会

産学連携コーディネーター、高校教育課の各産業担当指導主事、知事部局の関係部局がマッチングや各取組を支援

# NEXT長崎人材育成事業

～産学官連携による地域産業人材の育成～

	農業分野	工業分野				商業分野	情報分野	水産分野	福祉分野
産業界	<p>JAグループ長崎 県農業会議</p> <p>(JA・農家・農業法人)</p>	<p>県工業連合会 ※同 各地域の工業会</p> <p>(製造業関連企業)</p>	<p>県建設業協会 ※同 青年部</p> <p>(建設業関連企業)</p>	<p>ながさき半導体ネットワーク</p> <p>(半導体関連企業、大学等)</p>	<p>県情報産業協会</p> <p>(情報関連企業)</p>	<p>県商工会議所連合会 ※同 各地域の商工会議所 日本観光振興協会 (観光関連企業等)</p>	<p>県情報産業協会</p> <p>(情報関連企業等)</p>	<p>県漁業協同組合連合会</p> <p>県旋網漁業協同組合 (漁業関連企業等)</p>	<p>県社会福祉協議会 ※同 各市町の社会福祉協議会 (福祉関連企業等)</p>
専門高校	<p>島原農業高校 諫早農業高校 北松農業高校 西彼農業高校</p>	<p>長崎工業高校 佐世保工業高校 鹿町工業高校 島原工業高校 大村工業高校</p>	<p>長崎工業高校 佐世保工業高校 鹿町工業高校 島原工業高校 大村工業高校</p>	<p>長崎工業高校 大村工業高校</p>	<p>長崎工業高校 佐世保工業高校 鹿町工業高校 島原工業高校 大村工業高校</p>	<p>佐世保商業高校 島原商業高校 諫早商業高校 吉岐商業高校</p>	<p>諫早商業高校 情報科</p>	<p>長崎鶴洋高校 水産科</p>	<p>口加高校 福祉科</p>
県関係部局	<p>農林部 農業経営課 農業イノベーション推進室</p>	<p>産業労働部 企業振興課</p>	<p>土木部 建設企画課</p>	<p>産業労働部 未来人材課</p>	<p>産業労働部 新産業推進課</p>	<p>文化観光国際部 観光振興課 産業労働部 経営支援課</p>	<p>産業労働部 新産業推進課</p>	<p>水産部 水産経営課</p>	<p>福祉保健部 長寿社会課</p>
実施内容	<p>農業×DX×イノベーション</p> <p>(取組例) ・スマート農業実践 農家の見学 ・農林技術センターの教員向け見学</p>	<p>工業×DX×地域企業</p> <p>(取組例) ・3Dプリンタ実習等活用 ・企業による出前授業</p>	<p>つながる建設 in 長工</p> <p>(取組例) ・ドローン測量・建設DX ・建設現場の見学</p>	<p>半導体×ネットワーク×先端的学び</p> <p>(取組例) ・企業等と連携した学校設定科目「半導体製造技術」</p>	<p>先端的取組×課題研究</p> <p>(取組例) ・PLC(プログラマブル・ロジック・コントローラ)出前授業 ・プログラミング出前授業</p>	<p>ながさき観光DX</p> <p>(取組例) ・科目「観光ビジネス」での出前授業、ビジネスプランの作成</p>	<p>情報DX×地元企業</p> <p>(取組例) ・課題研究で専門的な助言・指導 ・生徒と企業の座談会</p>	<p>水産×DX×6次産業</p> <p>(取組例) ・スマート水産業の出前授業 ・オリジナルルアー制作</p>	<p>福祉×DX×魅力化</p> <p>(取組例) ・オープンスクールでの産学官での魅力発信</p>

県単位の組織的な連携により、各分野で  
産業界の教育力・ニーズ、学校の学び・人材育成、関係部局の振興計画・予算等が連動

# NEXT長崎人材育成事業

～ 知事部局との連携 ～

知事部局との協働に向けた流れ（どのようにして連携を深めていったか）

## (1) 事業説明

マイスターハイスクールの受託前・受託後にNEXT長崎人材育成事業への協力依頼を実施

## (2) 拠点校・産業界へのヒアリング・説明を知事部局職員も同行

令和6年度：令和6年7～9月

（現状、課題、今後の連携についてヒアリング）

令和7年度：令和7年5月

（令和7年度の取組みについてヒアリング）

令和7年9月

（次年度以降に向けた取組みについてヒアリング）

⇒各部局の来年度予算に反映できる時期に実施



この取組を毎年度の定例化（継続）  
することが持続化につながる

## (3) 各学校で授業見学・意見交換



【長崎工業、佐世保工業、鹿町工業、島原工業】 ※未来人材課、企業振興課、建設企画課 同行

- ・ 学校が何を望んでいるのか、企業側がどういった技術を持っているのか**お互いのニーズとシーズが理解し合えていない。**
- ・ 大きな現場を見せて**スケールの大きさを体感させ土木の魅力を味わせたい。**
- ・ 企業連携の際の**材料費・消耗品費の支援**
- ・ 電子工学科関係のインターンシップが近くに少ないため、良い企業があれば紹介してほしい。**宿泊費等の援助をいただくと他地区の企業へインターンシップが可能。**
- ・ 多様な企業見学に行きたいが、**近隣には電気系の企業で生徒を大人数受け入れるところがなく、製造業の同じ工場にいつも行っている。**
- ・ 建設現場の見学で、**公共工事の大規模の建築現場を見せたいが、受け入れ企業との調整が難しい。**  
⇒ **同行していた建設企画課が対応して、翌日には見学の受け入れ調整ができた。**

### 知事部局による「人材育成に特化した新規事業」

#### 【県文化観光国際部 観光振興部観光振興課の事例】

NEXT長崎人材育成事業による連携をきっかけに商業科で「観光ビジネス」の学び・課題について共有



観光ビジネスに特化した新規事業の開発（R7～）

### 3 各分野における産業人材等の育成・確保

#### 【3】(拡)県内観光人材の確保・育成 11百万円

\*

観光振興課

○長崎コンシェルジュの認定や県内商業高校等の生徒を対象にした観光関連事業者による特別授業の実施

など、観光人材の確保・育成につながる取組を推進

【観光業の人材育成事業費(地域の「ミライ☆ニナイ」手育成)】

【「長崎のおもてなし力」向上支援事業費】

#### <例：佐世保商業高校 出前授業>

- ・日時 令和7年12月3日（水） 12:00～12:50
- ・対象 2年生 54名（マーケティングコース）
- ・科目 マーケティング
- ・講師 ホテル日航ハウステンボス

同様の授業を県内10校で実施

→ 観光ビジネスの学びの県全体への波及



※長崎コンシェルジュ

県内の宿泊施設において、お客様が快適な滞在時間を過ごし、満足いただけるサービスを提供するとともに、長崎県ならではの価値や魅力を伝える事ができる県が認定したプロフェッショナル人材。

# 産業界及び地域と連携した魅力ある学びの推進

## 現状・課題

少子化が加速する中、専門高校には、本県の基幹産業である農林水産業をはじめ、工業や商業などの地域の発展を担う人材や医療や福祉などの地域を支える人材等の育成・確保がこれまで以上に求められている。また、変化が激しい各産業の新技术を反映した職業教育を実践していくとともに、地様や生徒の多様なニーズに対応した教育改革を産学官で連携して実施していく必要がある。

### 農業

農林業・農山村を取り巻く環境は、人口減少と高齢化の加速、不安定な国際情勢による生産資材・飼料価格の高止まり、激甚化する自然災害や気候変動による栽培環境の変化など様々な課題に直面。

### 水産業

漁業就業者数の減少や高齢化が進行しており、漁業生産を維持するためには、新規漁業就業者の確保が必要である。新規就業者数は増加傾向にあるが、着業後の経営の安定と定着率の向上が課題。

### 工業

- ①危機を克服する事業継続支援と企業変革力の強化（DXの推進、多様なイノベーションを創出する環境づくり等）
- ②若者の県内定着と地域で活躍する人材の育成
- ③力強い産業の育成による、魅力ある仕事の創造（成長分野の新産業創出・育成、スタートアップの創出、製造業等の生産性向上と成長促進等）

### 観光業

人手不足が深刻で、国内外からの観光客のニーズも多様化する中、それに対応できるデジタル技術活用スキルや語学力、地域理解等を備えた人材の確保・育成・定着と、やりがいを感じ働きやすい職場環境の整備が課題

### 福祉

高齢化に伴い介護サービス需要が高まることから、新たな介護人材や福祉系高校の入学確保に向け、介護の魅力やテクノロジー導入等による働き方の変化などを発信する取組が必要。

## 共通：DXやICT等を活用した生産性や付加価値の向上

### <産業界意見>

NEXT長崎人材育成事業 事業運営委員会（R7.7.10）

- AI等を「使う側の視点」からの教育が重要である。各学科の学びに共通でAIやITの要素を組み合わせることで、どの産業にも応用可能な教育が実現できる。
- 産業界側が生徒にとってどのように魅力的な存在になれるかという視点も必要で、産業界側が「どうすれば魅力的になれるか」という問いが必要。
- 県内定着には、故郷への愛着が大きく関係しており、長崎県には誇れる技術力や観光資源が豊富にあるため、それらを早い段階で発信することが重要

### <学校現場の意見>

県立高等学校再編に係る大綱策定に向けた意見交換会（校長会）（R7.9.4）

- 地域の特性を踏まえた柔軟な教育制度が必要。生徒が自分の興味や進路に応じて学びを選べる環境づくり。
- 学校は地域づくりの一環として位置づけるべきであり、地域の夢や希望を反映した教育設計が必要。若者が「この地域で暮らしたい」と思えるようなまちづくりと教育の連携。

### <外部有識者意見>

ながさき次世代高校創生会議（R7.10.14）

- 地元企業は、教育活動に参画した成果は、いずれ地域や地元産業に返ってくることを認識し、企業活動の一環として取り組むべき。
- イノベーションを起こす学校、アカデミックな探究など、社会に新風を吹き込む人材の育成に向け、地域や産業界との連携を担うコーディネーターの存在が必須である。

## 県立高校の再編に係る大綱策定

生徒数減少に対応する単なる統廃合ではなく、未来志向の教育の質の向上を図り、新たな学びを創出する魅力的な再編を目指す。R8.6策定予定

## 論点

「今後、高校生に求められる学びとは」「学校と産業界がWin-Winの関係を築くためには」「高校の学びの改革に合わせた産業界の意識変革の必要性は」等々

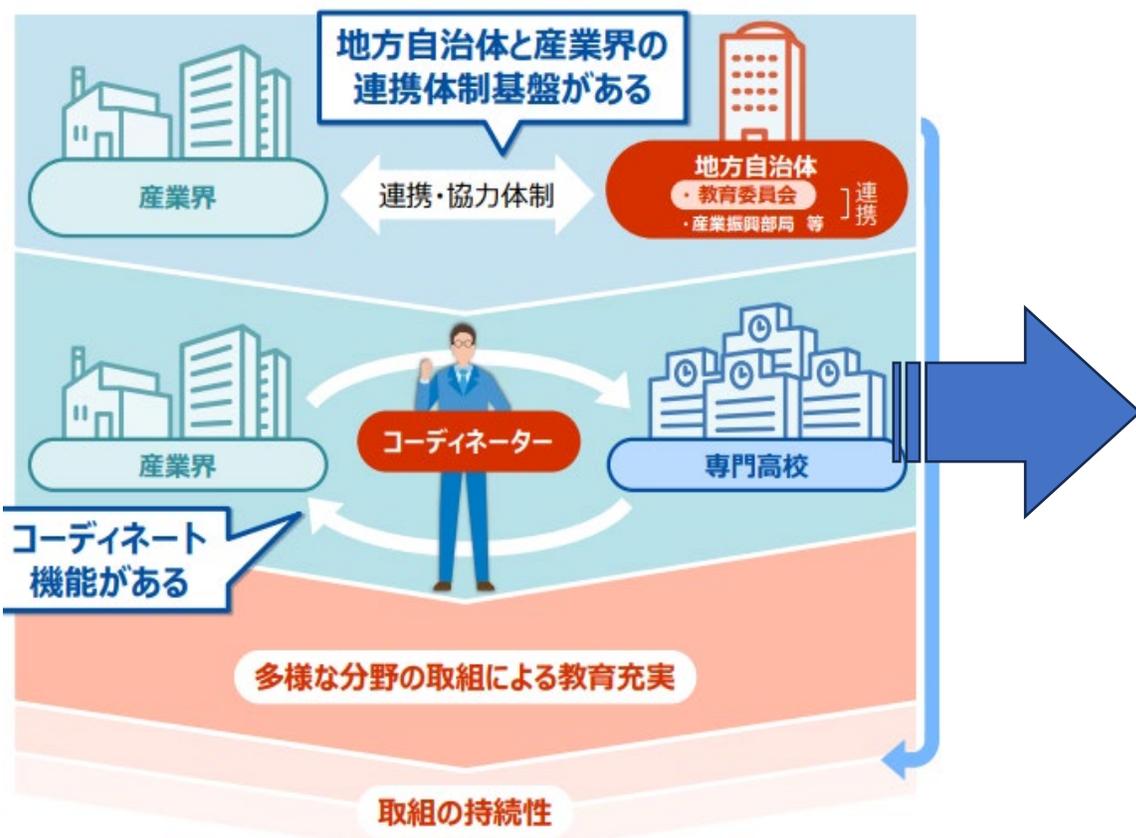
# NEXT長崎人材育成事業

～ 持続可能な連携に向けて ～

## 【コーディネーター機能の分散化】

組織と組織の連携を通じて、コーディネートを個人に依存せず組織として対応することにより、持続可能な連携を推進

対話を密にすることにより、学校の課題やニーズを産業団体や知事部局が把握し、企業等とマッチング等

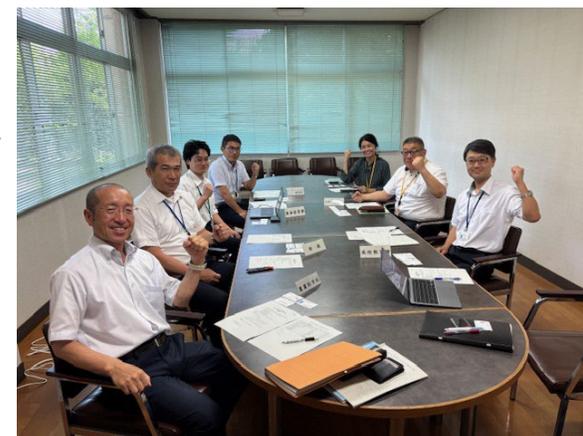


県教育委員会（管理機関）が連携体制構築の伴走支援

### 【農業分野の例】

#### (1) 担当者調整会議（年度初め）

- 参加者：諫早農業高校、JA中央会、県農林部（農業イノベーション推進室・農業経営課、県教委（高校教育課）
- テーマ：今年度の連携内容について  
→ 農業科において、実際にスマート農業に触れる体験の充実を目指す



JA中央会 × 県農林部 が地元農家やJAと調整（コーディネート）

#### (2) スマート農機講習会

- 講師 JA全農ながさき 様  
JAながさき県央 様  
クボタアグリサービス株式会社 様
- 内容 スマート農業についての講義  
自動運転トラクタおよび田植え機試乗

#### (3) スマート農業実践農家の見学

- 見学先 県央農協馬鈴薯人参選果場 様  
キュウリ農家（松尾 博美 様）  
イチゴ農家（渡辺 諒太 様）



# 各分野で連携した取組

分野	実施概要	写真
農業	<p>R6</p> <p>&lt;農業&gt;            ・1月30日 【諫早農業】先進農家の見学会を実施            ・1月21日 【諫早農業】授業見学・意見交換会</p> <p>&lt;林業&gt;            ・1月23日 【諫早農業】授業見学・意見交換会            ・3月7日 【諫早農業】林業現場の見学会を実施</p>	 <p>先進農家の見学</p>
	<p>R7</p> <p>&lt;農業&gt;            ・5月16日 農業法人と農業高校5校との意見交換会を開催            ・6月30日 【諫早農業】関係者での意見交換            （今年度の取組の打ち合わせ）</p> <p>&lt;林業&gt;            ・5月29日 【諫早農業】において、環境創造科の今年度の林業教育に係る連携に向けた関係者の意見交換会を開催</p>	 <p>農業法人との意見交換会</p>
水産	<p>R6</p> <p>・12月10日【長崎鶴洋】スマート水産に関する出前授業            ・12月10日【長崎鶴洋】養殖関係者との意見交換会</p>	
	<p>R7</p> <p>・年間 【長崎鶴洋】長崎総合科学大学と連携した授業            ・7月4日 【長崎鶴洋】水産関係者の授業見学・意見交換会</p>	 <p>授業見学</p>

分野	実施概要	写真
	<p>R6</p> <p>&lt;半導体&gt;  ・年間 【長崎工業】学校設定科目「半導体製造技術」において、半導体関連企業による体系的な講座  ・12月23日【長崎工業】授業見学・意見交換会</p> <p>&lt;工業&gt;  ・6月10日 【長崎工業】長崎工業会との意見交換会  ・12月12日【鹿町工業】佐世保工業会との授業見学・意見交換会</p> <p>&lt;建設&gt;  ・9月25日 【長崎工業】建設業協会との意見交換会  ・11月20日【長崎工業】ドローン測量の授業や建設会社と生徒の意見交換会</p> <p>&lt;情報&gt;  ・7月9日 長崎県情報産業協会と5工業高校との連携協定を締結</p>	 <p>半導体の授業</p>  <p>半導体の授業</p>
工業	<p>R7</p> <p>&lt;半導体&gt;  ・5月23日【大村工業】半導体の授業見学・意見交換会  ・年間 【長崎工業・大村工業】学校設定科目「半導体製造技術」において、半導体関連企業による体系的な講座を実施中</p> <p>&lt;工業&gt;  ・年間 【鹿町工業】機械科3年の課題研究において、佐世保工業会の会員企業と連携した授業を実施中  ・6月30日【長崎工業】長崎工業会との意見交換会</p> <p>&lt;建設&gt;  ・年間 【佐世保工業】土木科3年の課題研究において、建設企業と連携した授業を実施中  ・4月21日【長崎工業】建設業協会との関係者会議  ・5月13日【長崎工業】建設業協会による出前授業(測量)</p> <p>&lt;情報&gt;  ・年間 【大村工業】電子工学科3年生の課題研究において、情報産業協会の会員企業と連携した授業を実施中</p>	 <p>建設業協会との意見交換会</p>

分野	実施概要		写真
商業	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月5日【佐世保商業】佐世保商工会議所や観光関連団体との授業見学・意見交換</li> <li>・3月14日【佐世保商業】大島造船を見学し実践的な企業会計の講義</li> </ul>	 <p data-bbox="2033 629 2270 662">観光ビジネスの授業</p>
	R7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間【佐世保商業】「観光ビジネス」の授業において、観光関連企業や団体等による体系的な講座を実施中</li> <li>・5月2日【島原商業】①日本トータルテレマーケティング×②島原半島ジオパーク協議会×③クラスタス×④ジブラルタ生命×⑤駿光会との5者協定を締結</li> </ul>	
情報	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月22日【諫早商業】情報産業協会会員企業との授業見学・意見交換</li> <li>・3月7日【諫早商業】D-FLAG,長崎県立大の見学</li> </ul>	 <p data-bbox="2066 1091 2252 1125">県立大学の見学</p>
	R7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月12日【諫早商業・長崎商業】長崎県情報産業協会との連携協定締結</li> </ul>	
福祉	R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月10日【口加】福祉関係者の授業見学・意見交換会</li> <li>・11月2日【口加】オープンスクール 介護の魅力伝道師との意見交換会・DX機器体験</li> </ul>	 <p data-bbox="2023 1488 2237 1521">オープンスクール</p>
	R7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月5日【口加】オープンスクール 産学官連携による、福祉の幅広い魅力体験講座</li> <li>・11月1日【口加】オープンスクール 産学官連携による福祉の魅力体験(予定)</li> </ul>	

# NEXT長崎人材育成事業

## ～ながさき産学官連携シンポジウム～

長崎の未来を支える地域産業人材の育成を目的として、産学官連携シンポジウムを開催いたします。本シンポジウムでは、産学官による学びの連携の取り組みとその成果を共有し、高校における産学官連携のさらなる推進をねらいとしています。

専門高校

～NEXT長崎人材育成事業～

### ながさき産学官連携シンポジウム

産学官で描く、未来の学び

令和7年7月25日(金)  
14:50～16:40

※オンライン配信

会場：長崎県市町村会館  
(長崎市栄町4-9)

内容

- 説明 「専門高校における産学官連携について」
- 事例発表 「島原商業高校の産学官連携の取組について」
- パネルディスカッション  
「産学官による学びの連携に向けて」



ファシリテーター 長崎県教育庁高校教育課 指導主事 産学連携コーディネーター 長尾 和弘

パネリスト

株式会社クラスタス CTO	神崎 健輔 氏
日本トータルテレマーケティング株式会社	
長崎南島原センター スーパーバイザー	水田 真美 氏
島原商業高校 教諭 情報処理科主任	佐々木 亮 氏
島原商業高校 代表生徒(3年)	
株式会社ソフィア 代表取締役	廣田 拓也 氏
長崎県教育庁高校教育課 参事	馬場 剛

スケジュール

13:30	14:00頃	14:40	14:50	15:05	15:30	16:40
①開会	②生徒研究実践発表会	休憩	①事業説明	②事例発表	③パネルディスカッション	
長崎県産業教育振興委員会			ながさき産学官連携シンポジウム			
← オンライン配信を行う →						



当シンポジウムは、令和7年度長崎県産業教育振興委員会に引き続き実施いたします。生徒研究実践発表会からオンライン配信を行います。受付方法は参加申込の書様にご案内いたします。

参加対象

- 1 県内企業・団体等の関係者 2 教育関係者、行政関係者

申込方法・申込〆切

- 参考のQRコードを読み取り、Formsのフォームにて、申し込みください。
- 参加申込・その他のお問い合わせ先  
高校教育課 担当 梅野  
電話 095-894-3355

【7月18日(金)〆切】

主催：長崎県教育庁高校教育課 共催：長崎県産業教育振興会

### NEXT長崎人材育成事業

### 地域産業の持続的発展につながる人材を育成

長崎県では、令和6年度より「NEXT長崎人材育成事業」を実施し、産学官連携による地域産業の人材育成に取り組んでいます。現在、農業・工業・商業・情報・水産・福祉の分野において、県内の専門高校15校を拠点校とし、学校見学や意見交換会、産学官連携の授業実施などの取組を進めています。

#### 1. 目的

産業界と教育現場、県の関係部局が協働しながら連携する仕組みをつくり、産業教育の「学びの連携」の充実を図ることで、地域産業の持続的発展につながる人材を育成する。

#### 2. 目指すゴール

高校のカリキュラムに産業界の教育力を取り入れた「学びの連携」を推進する。これを核として生徒と産業界、教育と社会が繋がれ、「地域産業で活躍したい、地元企業で働きたい」というふるさと意識の醸成とともに、産業界が求める資質・能力を備えた人材を育成する。「学びの連携」を通して、対話型・体験型の学びや探究的な学びを推進しつつ、地域産業を担う人材の育成・確保と産業活性化の好循環をつくる。



### 島原商業高校の取組

### 実社会に生きる学びの実現に向けて

島原商業高校は、令和7年5月2日に地元企業・団体などの計5事業所（日本トータルテレマーケティング、株式会社クラスタス、島原半島ジオパーク協議会、ジブラルタ生命保険長崎支社、観光会）と、商業・家庭科教育の充実に向けた連携協定を締結しました。科目「課題研究」を、地域との「連携型プラットフォーム」と位置づけ、①故郷探究講座 ②情報探究講座 ③ビジネススキル講座 ④職業資格取得講座 ⑤ビジネスプラン講座 の5講座で、実社会に生きる学びの実現に向けた一歩を開始しました。



### パネリスト紹介

### パネルディスカッションテーマ「産学官による学びの連携に向けて」

神崎 健輔



株式会社クラスタス CTO  
有限会社白洋舎（白洋舎クリーニング）部長。システム開発を展開し、これまでに、全国から宅配でクリーニングを受付する「Hexy（ネクシー）」や、AIでクリーニングのセルフ受付を行うセルフレジシステムを開発・導入した。南島原市DXコンソーシアム会長を務め、市内のDX推進やIT・IoTの導入支援を行う。「洗濯ハカセ」としてテレビや雑誌、ラジオなど様々なメディアでも活躍している。

水田 真美



日本トータルテレマーケティング株式会社 長崎南島原センター スーパーバイザー  
対話品質改善や新人研修・スキルアップ研修を担当。化新品種決定1級の資格を生かし、他センターに対しても美容業務のフォローや指導を行っている。就農先で即実践力となるよう教習やイントナーション・ビジネスマナー、面接試験を想定した模擬面接練習を実施。さらに、ビジネスメイクも授業の一環として取り入れている。

佐々木 亮



長崎県島原商業高等学校 教諭 情報処理科主任  
島原商業高等学校の情報処理科主任。情報技術の進展に伴い、社会が必要とされる力が変わる中、商業教育において育成するべき専門的な資質・能力が何かを常に模索している。県の事業にも有感で、「NEXT人材育成事業」、「高校・地域連携イキイキ活性化事業」、「ドローンワールドプロジェクト」等を主体的に活用し、常に生徒のために最新の学びを提供すべく尽力している。

廣田 拓也



株式会社ソフィア 代表取締役社長  
文部科学省 マイスター・ハイスクール事業の指定校等の伴走支援事業を2021年より受託。専門高校等と産業界等が一体となった最先端の職業人材を育成することに資する教育課程等の改善のためのフォローアップ支援を行っている。また、学校と産業界が一体・同期化し、地域の持続的な成長を牽引するための、絶えず進化する最先端の職業人材の在り方を研究している。

馬場 剛



長崎県教育庁高校教育課 参事  
令和6年度より、高校教育課キャリア教育班の参事を務める。NEXT長崎人材育成事業の総括を担当し、本県の専門高校を中心とした産学官連携を推進している。長崎工業高校での教頭時には、安全教育の連携、環境教育の連携（洋上風力発電）をはじめ、県工業連合会、県建設業協会との連携協定締結に尽力する。また、長崎工業高校での半導体教育やバイターンシップの実現に寄与した。

長尾 和弘



※ファシリテーター  
長崎県教育庁高校教育課 指導主事  
NEXT長崎人材育成事業の産学連携コーディネーターを務める。令和6年4月に、34年勤務した十八歳和銀行から教育庁に転職。「高校生向けアントレプレナーシップ教育」に注力し、未来の起業家や地方創生人材育成に取り組む。これまでのネットワークを活かし、地域企業と学校との仲介による学びの連携をけん引している。

# NEXT長崎人材育成事業

## ～ながさき産学官連携シンポジウム～

産学官による学びの連携の取組やその成果を共有しながら、高校における産学官連携の推進・拡大を図る。

○島原商業高校の事例発表

○パネルディスカッション

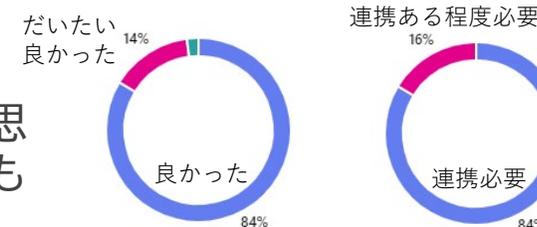
1. 概要：令和7年7月25日（金）長崎県市町村会館 出席者 114名

2. 今後求められる資質・能力

①主体性（30人）、②創造力（22人）、③問題発見力（20人）

3. アンケートの主な意見

- ・イキイキしている社会人と会うことで、こんな人と一緒に働いてみたい！という思いが芽生え、シビックプライドの醸成にも繋がるものと思う。
- ・産業界の生の声が参考にされるこの事業は活用される意義があり、若い人材の育成に繋がって欲しい。



＜アンケート結果＞  
シンポジウム評価：3.9/4点  
産学官連携の必要性：3.8/4点

分野	パネルディスカッション 主な意見
教員	外部との連携により、授業内容が実社会でどのように活用されているかを学ぶことができる。
生徒	外部講師による授業は楽しく新鮮であり、これまでの授業とは異なる魅力がある。
外部講師	地域課題をテーマに、気持ちを大切にした課題解決を進めている。方言を尊重しつつ、標準的な言葉遣いも教えている。地元が「戻ってこられる場所」であることを意識した授業展開が重要である。
伴走支援	生徒と企業が共に「課題研究発表」を行っている学校がある。企業側も「学びに行く」姿勢で関わっており、相互の学びが生まれている。
高校教育課参事	企業が従業員に誇りを持たせることでホスピタリティが生まれ、会社が良くなる。同様に、生徒が学校や地域に誇りを持てるようにすることが重要である。



# NEXT長崎人材育成事業 ～令和7年度第1回事業運営委員会～

①これからの産業人材育成の在り方について

②持続可能な連携体制の構築について

○10～15年後の未来を見据えた対話と共通理解

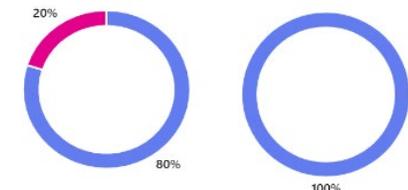
○選ばれる産業の魅力とは



1. 概要：令和7年7月10日（木） 出島メッセ長崎 出席者 51名
2. 全体会での主な意見
  - ① 産学官の連携強化：自由度のある教育制度や対話の重視が必要。
  - ② 専門高校の再編：学科の集約と自由選択制の導入。
  - ③ 学びの柔軟性：進路変更がしやすい仕組みの構築。
  - ④ 地域愛の醸成：地元の魅力発信と早期の「種まき」が重要。
  - ⑤ AI・IT教育の導入：AIを使う側の視点からの教育が必要。

3. 今後求められる資質・能力
  - ①主体性（14人）、②課題発見力（11人）、③創造力（9人）

4. アンケートの主な意見
  - ・普通科と専門高校の柔軟な連携・再編の必要性
  - ・教員の現場実習機会の拡充
  - ・DX・AI・IoTなどの共通基礎科目の導入
  - ・地域に応じた高校再編と教育の保証
  - ・教職員数や予算の弾力的運用の提案
  - ・産業界・教育現場・行政の共通理念の構築



＜アンケート結果＞  
 委員会評価：3.8/4点  
 産学官連携の必要性：4/4点

分野	主な意見
農業	地域性重視、総合選択制の導入、スマート農業の推進
工業	AI教育の横断的導入、企業連携、予算の柔軟化
商業	実践的学びの強化、地域企業との連携、教員の現場理解
情報	生成AIの活用、情報教育の基盤化、専門性の明確化
水産	魅力発信、地元就職の促進、高大連携の可能性
福祉	低年齢からの魅力発信、職場実習の推進、地域イベントとの連携
建設	土木系学科の拡充、進路選択の柔軟化、業界イメージの改善

# NEXT長崎人材育成事業 ~令和7年度第2回事業運営委員会~

## 1. 開催日時

令和8年2月3日（火） 13時30分から16時00分

## 2. 開催場所

長崎県庁行政棟1階 大会議室B・C（長崎市尾上町3番1号）

## 3. 内容

(1) 開会 委員長あいさつ

### (2) 第1部

①NEXT長崎人材育成事業の成果と課題、今後の展望について

#### ②分野別実践事例発表

分野ごとにブースを設け生徒が実践事例を発表  
(8分発表+5分質疑+2分移動=15分)×3回



他分野の取組みの共有・横展開



将来的な分野横断の取組へ

### (3) 第2部 グループ別対話

①テーマ・趣旨説明

#### ②対話会

1) 分野別実践事例発表の振り返り、成果と課題について  
2) NEXT長崎人材育成事業の今後に向けて



これまでの大人だけの対話から  
当事者である生徒も含めた  
対話の実施

# NEXT長崎人材育成事業

## ～佐世保商業高校における実践事例～

### 【概要】

観光ビジネスの学びを新たに始めるにあたり、全ての商業科の教員に“観光ビジネス”の専門性があるわけではないため、産学官連携しながら実践的な授業を展開

### (1) 産学官の授業見学、意見交換会の実施【対話】

- ・日時：令和6年12月5日（木）
- ・場所：佐世保商業高校
- ・内容：学校の課題や観光分野の人材育成について意見交換

### (2) カリキュラムに合わせた産業界・大学等からの出前授業

日付	曜日	時間	章・単元	内容	外部講師（予定）
4月10日	金	3校時	第1章 観光ビジネスの概要	ガイダンス、佐世保のこと	
4月11日	金	3校時	第1章 観光ビジネスの概要	私の理想の観光プラン	
4月18日	金	3校時	第1章 観光ビジネスの概要	ブランディング・アイデア発想法	【確】外部講師 長尾指導主事
4月24日	木	4校時	第2章 観光ビジネスの主な産業	旅行業・宿泊業について	【確】外部講師 JTB 坂本様
4月25日	金	3校時	第2章 観光ビジネスの主な産業	観光DXについて	【確】観光コンベンション協会 宮地 様
5月1日	木	4校時	第5章 地方自治体の観光政策	佐世保市の観光政策、観光資源	【確】外部講師 佐世保市観光課 川内野（かわちの）様
		5校時	第5章 地方自治体の観光政策	佐世保市の観光政策、観光資源	【確】外部講師 佐世保市観光課 川内野（かわちの）様
5月7日	木			ビジネスプラン構築	
5月13日	火	2校時	第6章 観光ビジネスと観光まちづくり	観光まちづくり	【確】外部講師 長崎県立大学 竹田教授
		3校時	第6章 観光ビジネスと観光まちづくり	観光まちづくり	【確】外部講師 長崎県立大学 竹田教授
5月22日	木	4校時	第6章 観光ビジネスと観光まちづくり	データ分析 RESAS	【確】外部講師 日観振 森岡 様
		5校時	第6章 観光ビジネスと観光まちづくり	データ分析 RESAS	【確】外部講師 日観振 森岡 様
5月23日	金	2校時	第5章 地方自治体の観光政策	佐世保市の観光政策、観光資源【県議会視察】	【確】外部講師 一般社団法人させぼらぼ 池田 様
5月28日	水	4校時	第4章 観光資源の発見と活用	ビジネスプラン構築	
6月5日	木	3校時	第4章 観光資源の発見と活用	ビジネスプラン構築【教育長・教育委員視察】	【確】外部講師 JTB 坂本様
6月6日	金	3校時	第4章 観光資源の発見と活用	ビジネスプラン構築	
6月12日	木	4校時	ビジネスプラン作成	ビジネスモデルの構築	【確】外部講師 長尾指導主事
		5校時	ビジネスプラン作成	ビジネスモデルの構築	【確】外部講師 長尾指導主事
6月19日	木	4校時	ビジネスプラン作成	壁打ち	
6月20日	金	3校時	ビジネスプラン作成	壁打ち	
6/考査			実施未定	壁打ち	
7月17日	木	4校時	ビジネスプラン作成	壁打ち（ファイナンス部分を外部講師招へい）	
夏季休業			ビジネスプラン作成・提出	観光甲子園提出	



意見交換会の様子



日本観光振興協会による授業の様子



RESASを使った観光分析

### (3) 県観光振興課 事業による「長崎コンシェルジュの派遣」

- ・日時 令和7年12月3日（水）
- ・講師 ホテル日航ハウステンボス

## カリキュラムに合わせた産業界・大学等からの出前授業

### 商業科目「観光ビジネス」を産学官連携で実践的に学ぶ

#### 1. 対象生徒

3年生 情報マーケティング科マーケティングコース 46名

#### 2. 産学官連携による取組

【1学期】さまざまな**外部講師**による**観光ビジネス**の授業

【2学期】観光ビジネスプランを作成

**産業界**の方を**壁打ち相手**にブラッシュアップ

※**観光甲子園・ビジネスプランコンテスト等に応募**(※教育コンテンツ)

【3学期】観光プラン・観光記事の作成（**HP/観光アプリ掲載**）



### 授業「観光ビジネス」

#### ◆産業界のプロとの共同授業

- 最新の観光やビジネスについて学ぶ！

#### ◆年間7割は外部講師及び外部と連携した授業内容

講師による一方的な講演ではなく、生徒が思考を深める演習を必ず入れています。

#### ブランディング・アイデア発想法

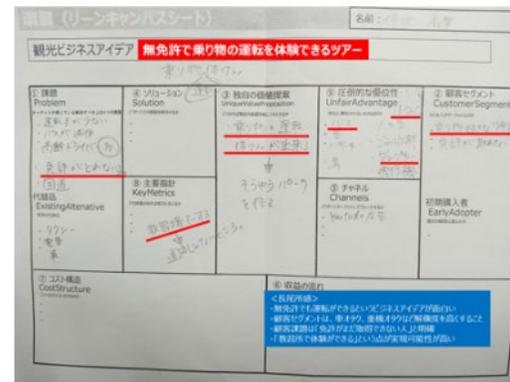
長崎県教育庁高校教育課 長尾 和弘 指導主事 (元十八親和銀行地域振興部長)

地元企業と連携した事業開発、地域の創生等に携わってこられたビジネスの達人！

長崎県立大学大学院  
地域創生研究科地域創生専攻 (博士後期課程)



ビジネスモデルの構築  
(リーンキャンバスシート)



#### RESAS・DMPによるデータ分析

日本観光振興協会 観光DX共創部長 森岡 様

データ分析プラットフォームDMP (デジタルプラットフォーム)などのサービスを提供されている。データ分析のプロ。



#### 旅行業・宿泊業について

株式会社 JTB 営業担当課長 坂本 大史朗 様

旅行会社の裏側まで伝授！  
学生の探究活動の支援経験も豊富！



#### 観光DX

佐世保観光コンベンション協会

事務局次長 兼 事業部部長 宮地秀郎 様

佐世保の観光DXに関する取り組みの中心人物！



#### 観光まちづくり

長崎県立大学 地域創造学部 実践経済学科 教授 竹田英司 様

地域での実践事例もあられる、  
観光教育のプロ！



## 授業「観光ビジネス」 観光ビジネスプラン作成実習

### ◆産業界のプロとの共同授業

- 最新の観光やビジネスについて学ぶ！

#### 佐世保市の観光政策、観光資源

一般社団法人させぼラボ 池田 明人 様  
(西海みずき信用組合 地域振興室長)

させぼの町おこしにこの人アリ！



#### 地方自治体の観光政策

佐世保市 経済部 観光課 係長 川内野 篤 様

佐世保の観光はもちろんプロ。  
これほど歴史・文化に精通された方はいない！

**スペシャルな講師陣による  
授業は、かなり贅沢でした！**

### ◆外部講師・関係者全員で壁打ち 「ブラッシュアップセッション」

- 観光のプロを招集してビジネスアイデアの壁打ち
- ポスターセッション形式で多くのアドバイスを頂きました。



### ◆外部講師・関係者で 「意見交換会」

- 外部講師や関係者から授業へのご意見を頂きました。
- 次年度に向け、協力体制を強化できた。



# 授業「観光ビジネス」 観光記事の作成実習

## ◆観光コンベンション協会と連携

- 撮影技術、情報発信講座を連携して実施。
- 観光記事の作成実習で地域貢献。
- 観光コンベンション協会HPと、観光アプリ「STOLOCAL」に投稿予定。

## SNSメディア発信スキル講座

Instagramのインフルエンサー

観光情報の魅力的な発信方法や  
Instagramのバスらせ方を伝授！

## 観光資源の魅力を伝える写真撮影

プロカメラマン

メディア発信には、魅力的な写真  
撮影の技術が必須。

HP、アプリで高校生ライターが、観光コースを紹介！



海風の国

特集 | モデルコース | 観光スポット | ツアー・体験 |

初めての「海風の国」佐世保・小値賀 ハウステンボス 九十



自然を満喫する

九十九島をたっぷり味わう満喫コース

西海国立公園「九十九島」をたっぷり味わうコースです。



女子旅

市街地をぶらぶら半日散策コース

佐世保の街中を自由に散策。徒歩でのんびりと、まち歩きはいかがですか？

<参考> 佐世保観光コンベンション協会HPより

【注】 生徒の作成した記事ではありません。

### 企業・大学見学

授業「財務会計」「原価計算」

#### ◆企業見学

#### ◆プロによる原価計算講座

- 原価計算の実態を学ぶ！
- 産業現場の見学で企業探究。職業観の育成。

#### ◆大学訪問

#### ◆専門家による会計講座

- 大学で会計学を学ぶ！
- 学内見学で選択肢の幅を広げる。

#### その他 NEXT事業の活用

- AI財務分析
- 金融リテラシー
- 起業家教育
- AI講座
- システム開発
- マーケティング



## 年間70時間以上の外部講師招へい

※他の事業と併せて

# NEXT長崎人材育成事業

## ～佐世保商業高校における実践事例～

### 【生徒感想より】

- 講座が楽しく、もっと知りたいことが増えて、授業に対する意欲が高まった。
- 観光プランを考えるには地元・佐世保の歴史や文化を知ることが大切だと気づきました。また、地域活性化のためには、その地域にしかない特有の資源を活かすことの大切さを実感しました。
- 観光ビジネスの授業では、佐世保の町をもっと活性化させ、観光客を増やすことを目標に学習を進めています。外部講師の授業で「どうすれば人を集められるのか」などについて学ぶ中で、ひとつのアイデアにとらわれず、さまざまな要素を取り入れて組み合わせることが大切だと教えていただきました。
- 企画を立てて実現することの難しさや大変さを実際に体験し、多くの学びを得ることができました。さらに、フィールドワークでは、地域の方々との会話やアンケートを通して、佐世保の人々の温かさや魅力を改めて実感することができました。
- ビジネスプランの準備は計画的に取り組むことができ、プレゼンは大まかな内容は発表することができたけど、市場データや数字の説得力にかけていたりして少し具体的じゃなかった部分は反省点。

### 特に高まった「佐商力」は何ですか？

※佐商力...佐世保商業高校で身に付けてほしい力

- ① 主体性
- ② 高い専門性
- ③ 計画力
- ④ 実行力
- ⑤ 課題発見力・情報リテラシー・発信力



## 産学官連携の取組を通じた成果と課題

### 成果

- 生徒の成長が目に見えて分かった。企画能力・創造力・プレゼン能力・大人とやり取りできる力など、全ての面でたくましく成長してくれた。
- ビジネスアイデアを柔軟に考える場面が多かったため、他科目の「商品開発」のアイデアなど、様々な場面で創造力を生かしていたと感じた。
- 自分たちの考えを検証するため、フィールドワークやアンケートなどを自主的に行う生徒がいた。一教科を超えた主体的な学びが展開されていた。

### 課題

- ・生徒の多忙感。演習時間がなかった。
- ・教員と生徒の信頼関係が構築されないまま。外部講師の授業ラッシュになってしまった。
- ・意欲を高めるためのコンテンツである、コンテストに授業が振り回されそうになった。

観光ビジネス教育の充実に向け

授業時間の確保

授業構築

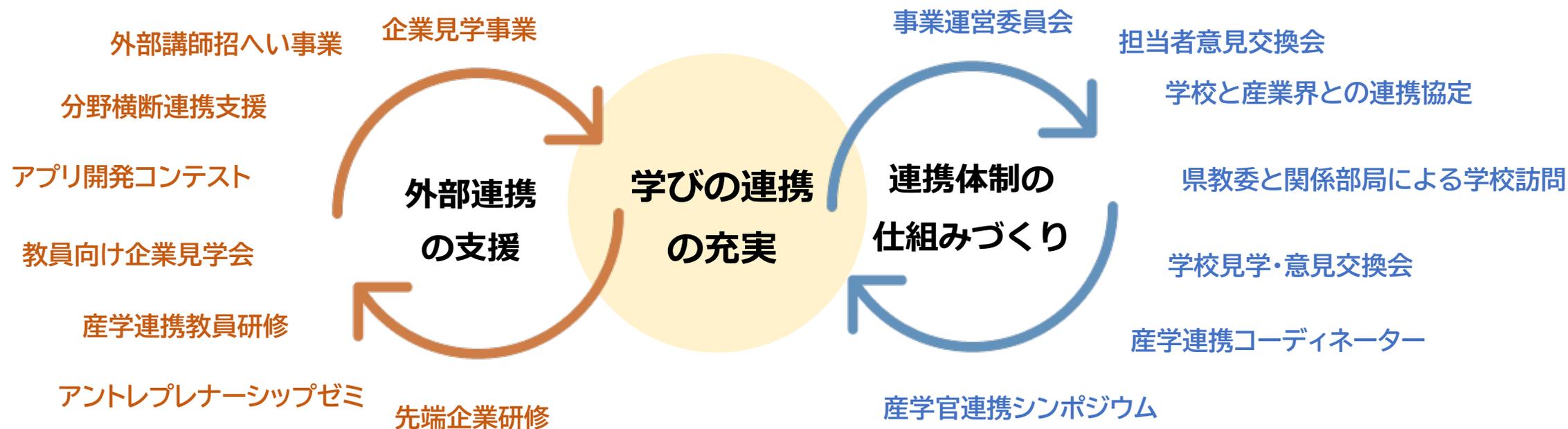
### ◆単位数の変更

(R7)                      (R8)  
2単位 → 4単位

### ◆大学とのカリキュラム共同研究

- 専門家(長崎県立大学)との授業内容の共同開発。
- 外部講師派遣の簡略化など。

### NEXT長崎人材育成事業の「学びの連携」モデル



## 成果

- ① **県単位**の産業団体・学校・県関係部局との**組織接続**  
県内の**専門高校・主な産業を網羅**(農業・工業・商業・情報・水産・福祉・建設)  
**組織間の分断を接続し**、学校単体では難しいダイナミックな連携へ
- ② **社会とつながる実践的な学びの実現**
- ③ **対話の浸透**  
あらゆる場での**対話**を通じた**参画意識の向上と相互理解**

### NEXT長崎人材育成事業を通して見えてきた【課題】

「学びの連携」を通じて  
社会とつながる学びが広がるものの…

#### 【課題】

- 生徒にとっては  
一部の授業(専門科)のみ
- 学校全体では  
一部の先生方だけの取組
- 連携した学びの取組のバラつき

取組・効果が限定的となる側面

#### 技術課題

新たな知識やスキルを身につけることにより  
解決を導き出すことができる課題

#### 適応課題

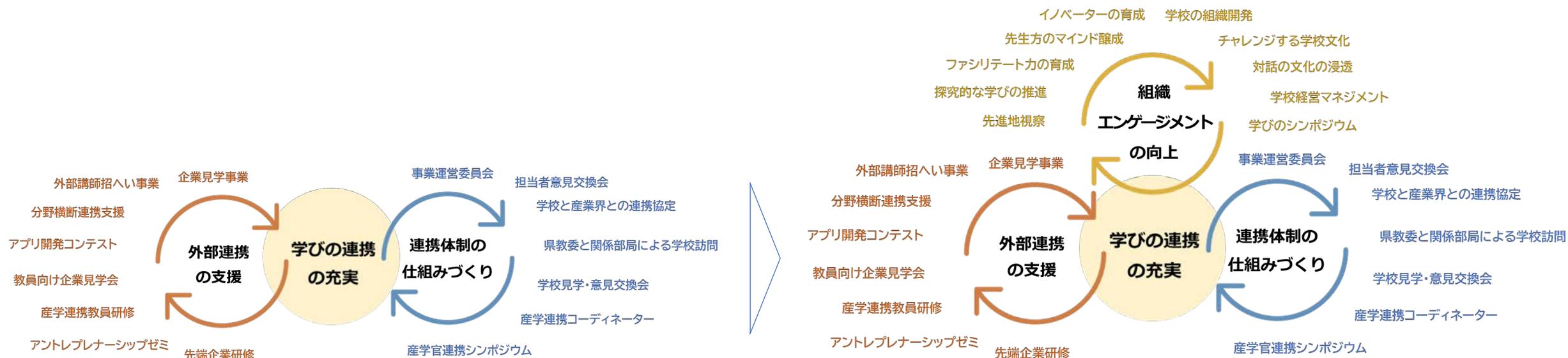
価値観や考え方に根ざしており、そのままの  
価値観では対応が難しいような課題

- 認知しにくい(言動や仕組み背景に存在)
- コンテキストへのアプローチ  
(前提条件・枠組み・背景)
- 先生方の受入態勢・マインド、余白  
(在り方の対話、腹落ちしたビジョン、納得)
- 組織の状態(学校のマネジメント)

適応課題に対応するため、組織への対応が必要

### 組織エンゲージメント

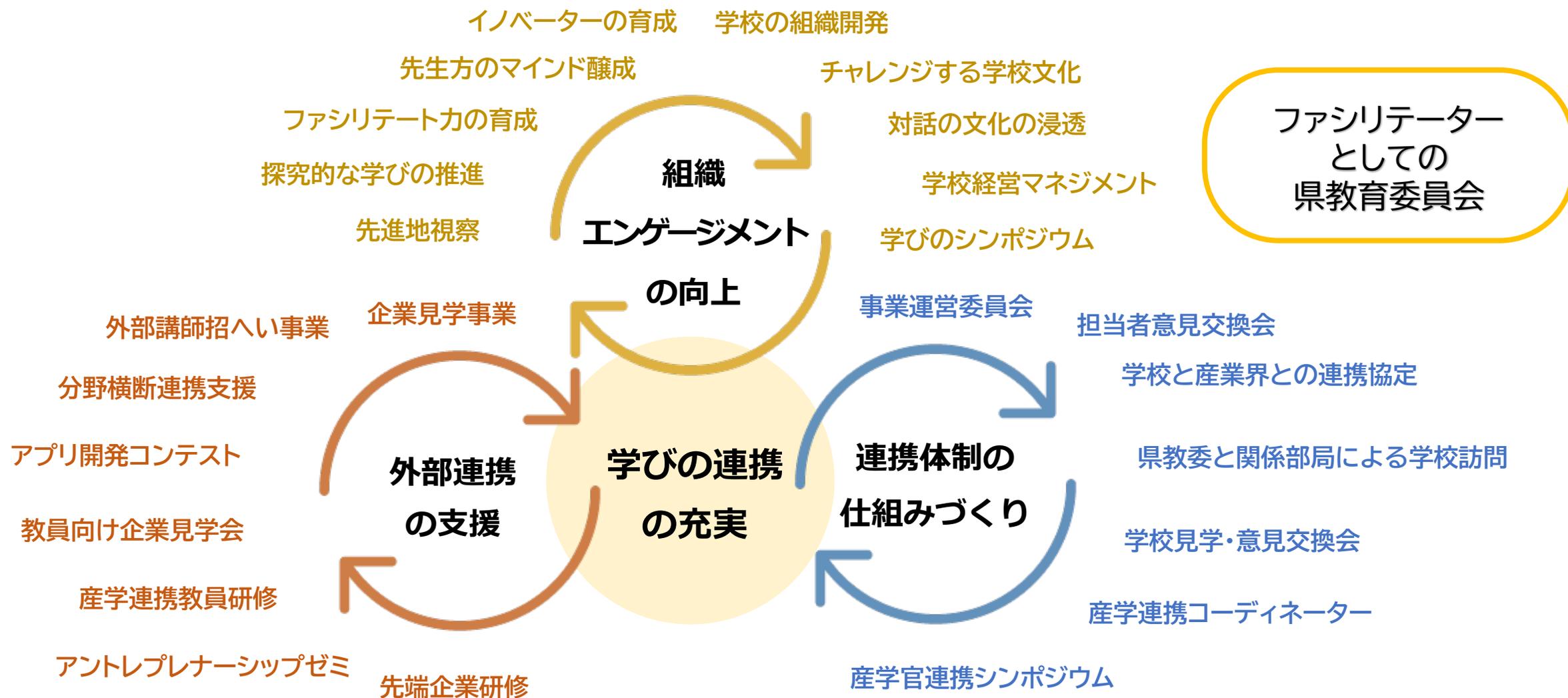
組織のメンバーがビジョンを共有し、協働しながら意欲的・継続的に組織を前進させる力



技術課題に対応  
→コンテンツ

技術課題と適応課題に対応  
→コンテンツとコンテキスト

### NEXT長崎人材育成事業の「学びの連携」の展開



### 先進的取組視察（令和6年度）

### ～組織エンゲージメント向上に向けて～

#### ○高校教育課

埼玉県立大宮工業高校	県教委としての事業化
熊本県八代工業高校	産学官金の連携体制
熊本県教育委員会	中長期的な計画と評価指標
大分県立情報科学高校	学科横断・AI
大分県立大分東高等学校	農業系連携と担い手育成
滋賀県立彦根工業高校	デュアルシステム・非認知能力
福井県立坂井高校	学科横断・探究活動
福井県立若狭高校	探究・地域連携
佐賀県 (株)オプティム	スマート農業・DX事業

#### ○学校教職員

新潟県立海洋高校	商品開発・教育プラットフォーム
三重県立明野高校	高・障・児3分野の地域連携
三重県立みえ夢学園高校	定時制総合学科の実習施設連携
愛知県立古知野高校	ICT機器・IoT技術の導入
菊武学園菊華高校	福祉教育PRや情報発信
大分県立情報科学高校	学科横断・AI導入
大分県立大分東高校	農業系連携と担い手育成
広島県立広島工業高校	県内工業高校共通学習プログラム
岡山県立岡山工業高校	問題解決型学習PBLと学科横断
熊本県立玉名工業高校	地域・企業と連携した工業教育
埼玉県立大宮工業高校	事業終了後の計画・豊富な実績
静岡県立浜松城北工業高校	全科共通ロボット学校設定科目

全国の**先進校の視察を通して**  
先生方の**意欲向上**につながる

大分県立情報科学高校の視察の際、**高校教育課と高校の教頭、ベテラン教員、若手教員が同行**  
学び・気づきを共有・対話した結果、その後の**学校の取組変容が加速**（佐世保商業高校）

### 先進的取組視察（令和6年度）

### ～組織エンゲージメント向上に向けて～

○大分県立情報科学高等学校

参加者：高校教育課3名、県立高校教職員5名



**すべての教室、すべての授業で生徒がイキイキと学びに取り組んでいた**

- ・ 探究を重視
- ・ 教員はファシリテート
- ・ 生成AIは家庭教師
- ・ 生徒の未来を見据えた学び
- ・ 「個別最適な学び・協働的な学び」で生徒全員が参加する授業を実践

### 学びのシンポジウム

### ～組織エンゲージメント向上に向けて～

1. 概要：令和7年10月16日（木） 佐世保商業高校教職員45名
2. 内容 ～大分県立情報科学高校の取組紹介～  
 テーマ：生徒の主体性を引き出す学びづくり
  - ・ 探究型課題研究の事例紹介と成果
  - ・ 個別最適な学びと協働的な学びの実践
 <講師>大分県立情報科学高校 主幹教諭：堤雄思郎(商業)、教諭：柴田由美子(数学)
3. アンケートの主な意見
  - ①授業を見つめ直す機会
  - ②生徒の主体性・変化を実感
  - ③ファシリテーターとしての教師像に共感
  - ④探究的な学びの意義の再認識
  - ⑤生成AIへの関心向上

本日のオリエンテーションはいかがでしたか。 新たな学びを取り入れる意欲は高まりましたか。



○目的：「主体的・対話的で深い学び」の在り方を実践的に考え、授業改善につなげる



**A**

◇本日お伝えしたいこと

探究の最大の目的は  
生徒が主体的に思考すること

探究で授業は変わる  
先生はプロの伴奏者であり演出家である

「生徒がイキイキ学ぶ授業づくりのための先生の役割について」

- ・実施するにあたってどのような準備が必要か。

**【絶対捨てなければいけないもの】**

- 「わかりやすく教える」「教師の立場が上」
- 「生徒管理」「すべて想定内（手の内）におさめる」

**【私が意識していること】**

- 「わからんもんはわからん」「できんことはできん」
- 「生徒はおもしろい」「わかったら楽しい」
- 「授業管理」「絶対否定しない」
- 「生徒のすることは全部おもしろい」

全教職員を対象としたシンポジウムで全員が体感・共有→意欲向上・共感した先生方の増加

### 先進的取組視察（令和7年度）

### ～組織エンゲージメント向上に向けて～

#### 1. 概要

実施日：令和7年12月18日（木）～12月19日（金）

視察先：大分県立情報科学高等学校

参加者：25名（内訳：管理職3・教諭等22）、教育庁3名

内容：1日目 授業研究会 2日目 平常授業の見学、対話

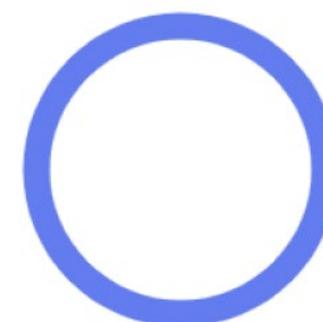
#### 2. アンケート

(1) 【視察よかった100%、チャレンジ意欲高まった100%】

(2) 主な意見

- ① 先進地視察の評価：圧倒的に「よかった」の声多数
  - ・ 探究的学び・個別最適な学びの効果を確認
  - ・ 生徒が主体的で対話的に学ぶ姿勢を実感
  - ・ 学校全体の改革の哲学・文化・チームワークが強く感じられた。
- ② 参考になった点
  - ・ 授業見学：日常的な探究的学びを実感。
  - ・ 対話会：授業目的、評価観、教員研修など多様な知見
  - ・ 研究授業：ファシリテーション力に強い気づき。
- ③ チャレンジ意欲は高まったか：ほぼ全員が「高まった」
- ④ 今後チャレンジしたいこと
  1. 授業改善 2. 生成AI活用 3. 教科・学科横断 4. 学校改革
- ⑤ 全体コメント・感想
  - ・ この視察が価値観を揺さぶる「転機」となった。
  - ・ 今後の教員人生・学校改革の方向性を考える大きなヒントを得た。
  - ・ 生徒がイキイキしており、教育の可能性を実感。

「先進的取組視察」はいかがでしたか。



● よかった	22
● だいたいよかった	0
● あまりよくなかった	0
● よくなかった	0

100%



事後検討会



平常授業の見学



AIの活用



対話会



管理職対話会



参加者

高校教育課と複数の学校関係者で先進的取組視察→チャレンジ意欲が高まった先生方の増加

# NEXT長崎人材育成事業

～産学官連携による地域産業人材の育成～

## ○NEXT長崎人材育成事業を通して見えてきた教育改革へのステップ



どの学校にもイノベーターとなりうる優秀な教員がいる。

- 関係部局との学校訪問
- 担当者会議



イノベーターとなる教員は新たな視点や学びを通して火がつく。

- 先進地視察
- 専門高校意見交換会



イノベーターとなった教員は学校の改革をけん引できる。

- 学校見学意見交換会
- 外部連携の積極活用



学校全体を巻き込む研修で、イノベーターを拡充できる。

- 学びのシンポジウム



校内のイノベーターが閾値を超えると教育改革が進む。

- 佐世保商業高校

### ファシリテートのポイント

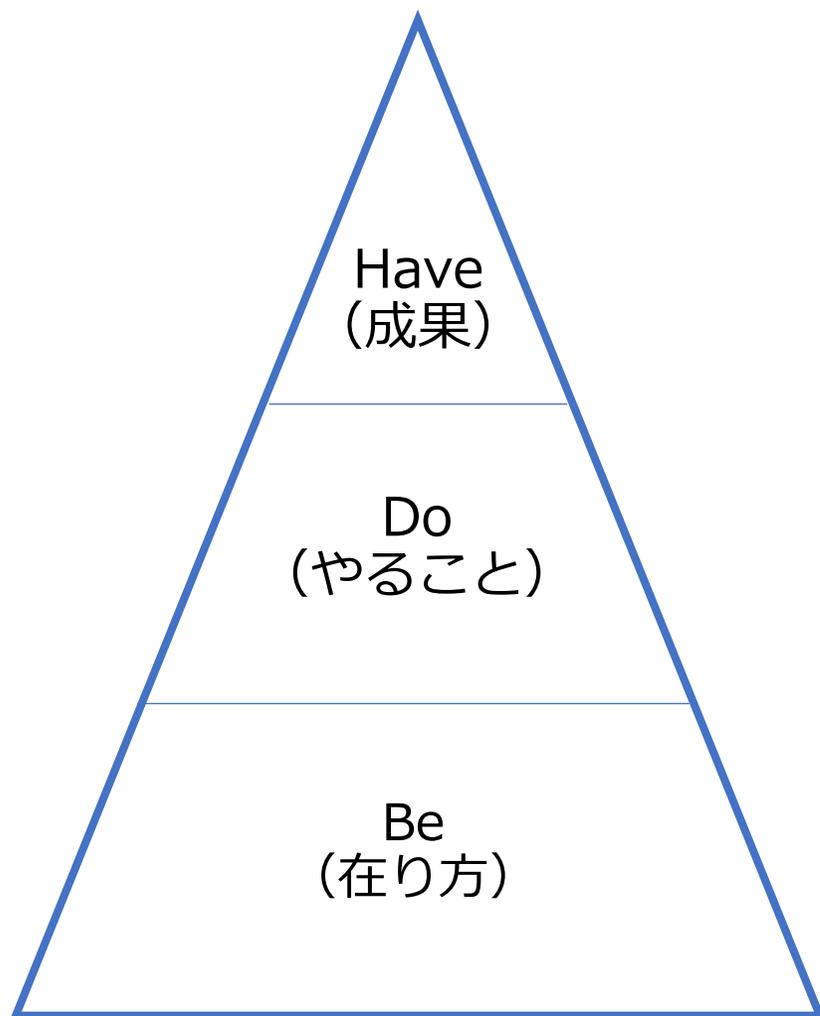
- ◇話のよいしよ役  
生徒の発言を肯定的に捉える  
時に追加してもよい  
そういえば「こんなこと聞いたこともある」など
- ◇発言の少ない生徒への配慮

学校の改革を進めるにはファシリテーターとしての県教委が有効である。

- アウトリーチ型の支援
- 学校の困り感・ニーズに応じた支援

### 高等学校教育改革に向けて

長崎型伴走支援モデル ～ファシリテーターとしての県教育委員会～



教育改革

社会とつながる学び  
産業イノベーション人材

技術課題への対応

管理機関としての県教委  
コーディネーター

適応課題への対応

ファシリテーターとしての県教委  
持続的な伴走支援

NEXT長崎人材育成事業（マイスター・ハイスクール）の  
知見や成果を活かして  
高等学校教育改革に取り組む



長崎型連携体制の構築